

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：母子保健指導費

事業名 不安を抱える妊婦への分娩前ウイルス検査事業

費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

岐阜県健康福祉部 子ども・女性局子育て支援課 母子保健係

電話番号：058-272-1111 (内 2685)

E-mail：c11236@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 10,000 千円 (前年度予算額：11,540 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	11,540	5,770	0	0	0	0	0	0	5,770
要求額	10,000	5,000	0	0	0	0	0	0	5,000
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

新型コロナウイルス感染症については、妊婦が感染した場合の妊娠経過や出産への影響、新生児への感染リスクなどよく判っていないこともあり、妊婦は強い不安を感じがちである。そのため、分娩前の妊婦を対象にPCR検査を実施し、その不安を軽減することが必要である。

(2) 事業内容

無症状の妊婦に対し希望によりPCR検査を実施した場合に、その費用を助成する。助成方法は、原則、検査を実施した病院に対し補助を行うことで、妊婦の負担を軽減する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県 10/10

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算内訳

補助金	10,000	検査実施機関に対する補助金
合計	10,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

令和2年度国三次補正事業（新型コロナウイルス感染症対策）

(2) 後年度の財政負担

県において、新型コロナウイルス感染症の流行下における妊産婦への寄り添った支援の一つとして、不安を抱える妊婦への分娩前ウイルス検査事業を今後も継続して事業を実施する。

(3) 事業主体及びその妥当性

事業実施主体は岐阜県であり、原則、医療機関への補助であること、検査実施医療機関との調整等、妊婦への啓発、市町村への周知等が必要であることから、県が実施することは妥当である。

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	不安を抱える妊婦への分娩前ウイルス検査事業補助金
補助事業者（団体）	医療機関 (理由) 感染症法に基づき感染症対応は県が実施主体であり、また医療機関でしか当該検査を実施できないため直接補助を行う。
補助事業の概要	(目的) 分娩前のウイルス検査により、妊婦が安心して分娩できるようにするため (内容) 妊娠予定日より2週間前から出産までに1回、不安を抱え、かつ希望のある妊婦に限り、ウイルス検査を実施する。
補助率・補助単価等	定額 ・定率・その他(例:人件費相当額) (内容) 上限20,000円まで補助 (理由) 令和2年度国三次補正事業にて、補助単価20,000円で設定されている。また当該検査の相場は20,000円であるため。
補助効果	ウイルス検査を受検する者の増加と、検査により陰性が確認できた妊婦が安心して分娩に臨むことができる。
終期の設定	終期: 令和4年度 (理由) 新型コロナウイルスの蔓延状況や感染症法上により終期後も継続実施。

(事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>無症状で希望する妊婦に対しPCR検査を実施した医療機関に対し、助成することで妊婦の負担を軽減する。</p>

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前	R2年度	R3年度	R4年度	終期目標	達成率
	(R)	実績	目標	目標	(R)	
①						%

	H30年度	R元年度	R2年度
補助金交付実績	千円	千円	6,119千円

(これまでの取組内容と成果)

令和2年	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 補助実績 306件
	指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3: 増加している 2: 横ばい 1: 減少している 0: ほとんどない 	
(評価) 3	妊婦の新型コロナウイルス感染症に対する不安は強いため、事業実施は必要であり、費用の助成は県しか実施できない。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3: 期待以上の成果あり (単年度目標 100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2: 期待どおりの成果あり (単年度目標 100%達成) 1: 期待どおりの成果が得られていない (単年度目標 50~100%) 0: ほとんど成果が得られていない (単年度目標 50%未満) 	
(評価) 1	補助実績 306件
<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2: 上がっている 1: 横ばい 0: 下がっている 	
(評価) 2	既存の検査スキームを活用しており、周知も産科医療機関から行うことから、もれなく行えるなど効率的である。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項 陽性となった妊婦への支援を確実に実施することが必要である。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 新型コロナウイルス感染症が収束するまでは実施する。
